

平成 29 年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

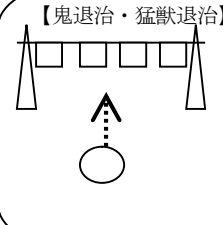
- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 I・III・V 】
2 実施対象者	学校名 : (千葉県立小倉小) 学校 対象学年 : (1) 学年 クラス(人数): (2) 組 (32人)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ①教科名 (<u>体育科</u>) ②行事名 () ③その他 () (2) 地域における活動 ①イベント名 () ②その他 ()
4 目標 (ねらい)	モデル校での実践等を通して、体育・保健体育の学習を充実させ、子供たちがよりスポーツを好きになり、生涯にわたって運動に親しむ資質を育むこと、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図ることを目的とする。

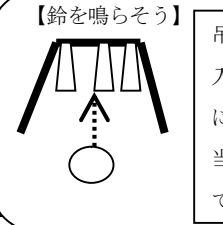
5 取組内容		1	2	3	4	5
	※道すじ (単元計画等) ※手立て (用具・ルール・場等)	0 ↓ 4 5	つながる運動 (2人でころがし遊び)			
		・オリエンテーション ・学習の約束 ・用具の使い方 ・学習カードの使い方 ・場づくりと役割分担 ・試みの遊び	ねらい① 「ボールころがしランド」で「ころがしボール遊び」を楽しむ。	ねらい② 目かくしをして、ゴールをねらったり守ったりして「ころがしボールゲーム」を楽しむ。		まとめ
	<手立て> ○ボールの工夫 ねらい①では、様々な種類のボール（鈴入りボール、ソフトボール、ビニール製のボール、ドッジボール）などを用意し、遊びの中でそれぞれのボールの特徴に触れさせた。ねらい②では、目隠しをしてもボールに反応できるようにするために、鈴入りのボールにビニール袋を被せ、音が鳴るようにした。 ○場の工夫 ねらい①では、様々な場を用意し、「ころがしボール遊び」を楽しんだ。		3時間目と4時間目の間で、朝学習などの短い時間を利用してパラリンピックやゴールボールの動画を視聴した。			

【鬼退治・猛獣退治】



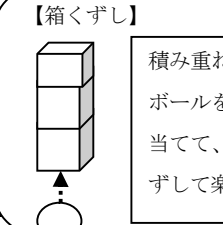
吊り下げた「鬼」「ライオン」などの絵が描いてある的にボールを転がし当てて楽しむ。

【鈴を鳴らそう】

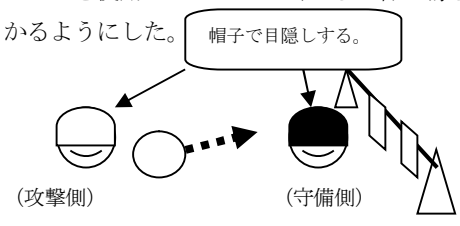


吊り下げられた鈴入りペットボトルにボールを転がし当て、音を鳴らして楽しむ。

【箱くずし】



積み重ねた箱にボールを転がし当てて、箱をくずして楽しむ。

	<p>ねらい②では、2対2の「ころがしボールゲーム」を行った。鈴入りペットボトルをゴム紐に吊り下げたゴールを使用してボールが当たると音が鳴るようにしたことで、目隠しをした状態でもゴールしたことがわかるようにした。</p> <p>帽子で目隠しする。</p>  <p>(攻撃側) (守備側)</p> <p>○目隠しの仕方の工夫 タオルやバンダナでの目隠しでは、結び目がほどけたり、目隠しが取れたりすることが考えられた。赤白帽子を鼻まで被せることで目隠しをさせるようにした。</p> <p>※守備側のペアはボール拾いをする。 ※攻撃側のペアは得点が入ったらお手玉をお皿に置く。 また、シュートが入ったかどうかをペアに教える。 ※2人とも転がし終えたら攻守交代する。</p>
<p>6 主な成果</p> <p>※箇条書きで簡潔にお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して、どのように転がすと強く、狙ったところに転がせるのか考えながら活動する場面が多く見られた。 ・ねらい①で目隠しのない「ころがしボール遊び」を十分楽しませたことがねらい②につながった。 ・ねらい①の「ころがしボール遊び」では、用意した場が子どもたちの発達段階に合っていた。ねらったところに転がしたボールを当てて音を鳴らすことや段ボールを崩すことを十分楽しむことができた。 ・ねらい②では、目隠しした状態でも、相手のいないところをねらって転がす動き（ねらい①で身に付けた動き）が多く見られた。また、転がってくるボールの音を集中して聞いてゴールを守る動きが見られた。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p> <p>※箇条書きで簡潔にお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の途中（3時間目と4時間目の間）でパラリンピックやゴールボールの動画を見せた。子どもたちはねらい①で行ったボールを転がす動きを生かして「目隠ししてゴールを狙ったり守ったりしてみたい」「自分にも目隠ししてできそうだ」という意欲を高めた。 ・目隠しの方法を「赤白帽子を鼻まで被る」としたことで、目隠しの取り外しが簡単にできた。 ・ねらい②では、子どもたちの意見からゴールに入ったときと守ったとき、それぞれ得点が入るようにした。また、得点が入ったらお皿にお手玉を置き、点数がわかりやすいようにした。得点の競い合いを楽しみながら、歓声の響き渡る白熱したゲームが展開された。
<p>8 主な課題等</p> <p>※箇条書きで簡潔にお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「目隠しをして活動してみたい」という意欲を高めること。今回は、単元の途中で動画を見せ、「できそう？」「やってみよう」と発問し、「それならば目隠ししてやってみよう」というように子どもの意欲を促した。 ・3年生以上にこの学習をどのようにつなげていくか。 ・鈴入りボールの音が小さい。もっと多くの鈴や大きな鈴が入っているとよい。
<p>9 来年度以降の実施予定</p> <p>※学校での現段階での予定で構いません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2年で実施する予定です。 ・3年生以上は未定です。
<p>10 その他</p>	<p>○5時間の単元終了後、アンケートを実施した。(32名実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習はどうだったか 楽しかった(31名) まあまあ楽しかった(0名) あまり楽しくなかった(1名) 楽しくなかった(0名) (楽しくなかった理由は転がすことへの苦手意識) ・目隠ししてねらったところにボールを転がせたか 上手にできた(18名) まあまあできた(6名) あまりできなかった(4名) できなかった(4名) ・目隠ししてゴールを守れたか 上手にできた(21名) まあまあできた(4名) あまりできなかった(2名) できなかった(5名) ・自由に書かせた感想

おいをいっばいおせました。目かくしてボールをたあせました。目かくしてすすをうまいたおせてたのしかったです。

目かくしてゴールをまもったの。目かくしてボールをまもってゴールにはいったのがうれしかったの。うれしかったの。またやりたいたい。

たのしがたうれしかった。めいめい。たのしがたうれしかった。めいめい。たのしがたうれしかった。めいめい。たのしがたうれしかった。めいめい。

